

令和7年12月3日

令和10年度大学入学者選抜（令和9年度実施）について（予告）（第二報）

東京学芸大学

本学では、令和9年度に実施する令和10年度大学入学者選抜について、以下のとおり行うことをお預定しております。また、今後新たに予告する内容が決まりましたら、順次お知らせします。

なお、お知らせした内容については、今後一部修正や変更をさせていただく場合もございますので、本学公式ウェブサイト（<https://www.u-gakugei.ac.jp/>）内の「学部入試情報サイト」、並びに令和9年度に公表する「令和10年度入学者選抜要項」及び各選抜の「令和10年度学生募集要項」についても、必ずご確認くださいますようお願いいたします。

今回お知らせする内容 ※既に公表している「予告（第一報）」も併せてご確認ください。

○令和10年度大学入学者選抜（令和9年度実施）の変更内容

1. 【学校推薦型選抜】推薦要件（調査書の全体の学習成績の状況、推薦できる者の数）
2. 【学校推薦型選抜】出題教科・科目等及び配点
3. 【学校推薦型選抜】大学入学共通テスト成績を利用するコース（A・B類社会コース、A・B類数学コース）における同テストで受験を要する教科・科目等
4. 【総合型選抜】〔第二次選考〕東京学芸大学入学試験の出題教科・科目等及び配点

1. 【学校推薦型選抜】推薦要件（調査書の全体の学習成績の状況、推薦できる者の数）

令和10年度大学入学者選抜（令和9年度実施）から、学校推薦型選抜の推薦要件を見直し、下表のとおり変更いたします。

○新規追加するコース

| 課程 | 類・コース・プログラム | 推 薦 要 件 |
|------------|-----------------------------|---|
| 学校教育教員養成課程 | A 類 社 会 コ ー ス | 1. 人物、学力ともに優れ、社会に深い関心を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 令和10年度大学入学共通テストのうち、本コースが一般選抜（前期日程）において指定するパターンに従って所定の教科・科目等を受験する者 3. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする |
| | A 類 数 学 コ ー ス | 1. 人物、学力ともに優れ、数学に深い関心を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 令和10年度大学入学共通テストのうち、本コースが一般選抜（前期日程）において指定するパターンに従って所定の教科・科目等を受験する者 3. 調査書の全体の学習成績の状況が3.7以上の者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする |
| | A 類現代教育実践コース (学校教育プログラム) | 1. 人物、学力ともに優れ、教育学に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする |
| | B 類 社 会 コ ー ス | 1. 人物、学力ともに優れ、社会に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 令和10年度大学入学共通テストのうち、本コースが一般選抜（前期日程）において指定するパターンに従って所定の教科・科目等を受験する者 3. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする |
| | B 類 数 学 コ ー ス | 1. 人物、学力ともに優れ、数学に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 令和10年度大学入学共通テストのうち、本コースが一般選抜（前期日程）において指定するパターンに従って所定の教科・科目等を受験する者 3. 調査書の全体の学習成績の状況が3.7以上の者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする |
| 教育支援課程 | E 類生涯学習・文化遺産教育コース | 1. 人物、学力ともに優れ、本コースに関心のある者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする |
| | E 類多文化共生教育コース | 1. 人物、学力ともに優れ、本コースに関心のある者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする |

○推薦要件を変更するコース

| 課程 | 類・コース・プログラム | 推 薦 要 件 |
|------------|----------------|---|
| 学校教育教員養成課程 | A 類 ものづくり技術コース | 1. 人物、学力ともに優れ、ものづくりと技術に興味があり、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする |
| | B 類 技 術 コ ー ス | 1. 人物に優れ、学習意欲旺盛で、将来中学校（技術科）又は高等学校（工業科）の教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする |

※「A・B類国語コース」及び「A・B類保健体育コース」においては、第一報のとおり1校当たり推薦可能人数を「人数制限なし」としたが、他の推薦要件に変更はないため本表では割愛する。

2. 【学校推薦型選抜】出題教科・科目等及び配点

○新規追加するコースの出題教科・科目等及び配点

(出題教科・科目等は全て必須、300点満点)

| 課程 | 類・コース・プログラム | 出題教科・科目等 | 配点 | 摘要 |
|------------|-----------------------------|-----------|------------|----------|
| 学校教育教員養成課程 | A 類 社会 コース | 小論文 面接 | 200 100 | 口頭試問を含む。 |
| | A 類 数学 コース | 小論文 面接 | 150 150 | 口頭試問を含む。 |
| | A 類現代教育実践コース (学校教育プログラム) | 小論文 面接 | 150 150 | |
| | B 類 社会 コース | 小論文 面接 | 200 100 | 口頭試問を含む。 |
| | B 類 数学 コース | 小論文 面接 | 150 150 | 口頭試問を含む。 |
| | E 類生涯学習・文化遺産教育コース | 小論文 面接 | 150 150 | 口頭試問を含む。 |
| 課教育支援 | E 類多文化共生教育コース | 小論文 面接 | 200 100 | 口頭試問を含む。 |

3. 【学校推薦型選抜】大学入学共通テスト成績を利用するコース（A・B類社会コース、A・B類数学コース）における同テストで受験を要する教科・科目等

「1. 推薦要件」に示したとおり、大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等は、一般選抜【前期日程】における指定パターンと同一とします。各コースと指定パターンの組み合わせの詳細は、入学者選抜要項をご確認ください。

なお、当該コースの合否判定は二段階選抜により行い、第一次選考は本学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定し、第二次選考は大学入学共通テストの得点をもって判定します。

4. 【総合型選抜】〔第二次選考〕東京学芸大学入学試験の出題教科・科目等及び配点

○新規追加するコースの出題教科・科目等及び配点

| 課程 | 類・コース・プログラム | 出題教科・科目等 | 配点 | 摘要 |
|--------|--------------|-----------|------------|--------------------|
| 教育支援課程 | E 類 情報教育 コース | 小論文 面接 | 100 200 | 口頭試問とプレゼンテーションを含む。 |